

那賀川町エリアの中心となる複合型交流拠点

【概要】敷地面積 1,800㎡程度
 延床面積 2,000㎡程度
 階数 地上3階
 構造 鉄骨造



北東方向からの外観 このパースはイメージ図です

設計の基本方針

- 幅広い世代が「交流」できる場
 児童や未就学児が安心して遊ぶことができるプレイルームを備えながら、高齢者が「100歳体操」を伸び伸びと実施できるスペースを設け、幅広い年齢層の地域住民のコミュニケーションの場となることをめざします。
- 「多様な表現」ができる場
 各種団体の打ち合わせやイベントの開催、将来のニーズもふまえた活用しやすくフレキシブルな対応が可能となるリーススペースを設けます。
- 「安全安心」して利用できる場
 有事の際に住民らが安心して避難する場として利用できる備えを有するとともに、復旧・復興時には支援拠点として機能する施設となるようにします。
- 多くの公共機能が「連携」する場
 現在の生涯学習機能や支所機能といった公共機能を集約し、各種申請、証明書発行等行政手続の利便性を向上させ、最新の行政情報を発信する場とします。
- 「エリアの中心」となる場
 地域の活動拠点となるスペースとし、従来から親しまれてきた生涯学習機能である文化・芸能活動、新しいイベントの開催などを行うためのスペースとします。
- 地域資源を「発信」できる場
 誰でも利用できるにぎわいの場となることをめざすとともに、地元事業者等が活躍する公民連携のモデルとなるような施設をめざします。

本市は、那賀川町の老朽化した施設の再編を検討し、複合型施設の建設に向けて進めています。
 その一環である全体設計のうちの基本設計において、このたび、新施設の外觀イメージ図が完成しましたので、設計の基本方針と併せてお知らせします。
 今後は、詳細な実施設計を令和8年度中にまとめ、令和9年度工事着手、令和11年度中の供用開始を予定しています。

これまでの経緯(年度別)

令和元年度	地域住民署名・陳情
令和2年度	陳情申し出
令和4年度	陳情申し出
令和5年度	地元住民説明会・アンケート実施
令和6年度	那賀川町商工会若手との意見交換会 地元関係者説明会・基本構想策定
令和7年度	基本設計・実施設計発注

那賀川社会福社会館の貸館利用の停止について

那賀川社会福社会館は、建設から50年が経過し、老朽化の著しい進行により、安全性や利便性の確保が難しい状況となっています。市民の皆さまに安心してご利用いただける環境を守るため、慎重に検討した結果、令和8年3月末をもって、施設の貸館利用を停止します。一般の方への貸館利用の停止にあたり、現在ご利用の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。